第53号
2019/10

PVかながわ ニュースレター

News

2019年11月16日(土)に「フォーラム神奈川2019【秋】」を開催

問題とも揶揄された「2019年」内に神奈川会員の75%以上が卒FITを迎えます。これまで毎年1回のペースでフォーラムを実施してきましたが、世話人一同、最新の情報をなるべく多くお伝えしたいと考え、「フォーラム神奈川2019【秋】」を11月16日に開催することとし、今回は観点の異なる3人の講師をお招きする予定です。

講演1では『かながわスマートエネルギー計画』の中から「再生可能エネルギー等の導入加速化」の項目を中心にお話し頂きます。県では卒FIT者への選択支援のために7月から事業者が提供できる蓄電池設置プランや余剰電力買取プランを募集し、「かながわ蓄電池バンク」と「かながわ剰電力買取プランバンク」として9月10日から公表を開始しました。これら二つの情報バンクの紹介や今年度は既に受付終了していますが、蓄電システム導入費補助金(新たに太陽光発電設備と併せて導入する蓄電池の経費を補助)などについても説明して頂く予定です。

フォーラム神奈川 2019【秋】

太陽光発電：
FIT後の発電電力運用について

2019年11月16日（土） 13：00～16：30
受付開始：12：30から

<講演1>『かながわスマートエネルギー計画の推進について』
武川 晴俊 氏（神奈川県 産業労働局産業部エネルギー課 課長）
<講演2>『卒FIT住宅用太陽光発電の活用提案』
塩 智一 氏（積水化学工業株式会社 住宅カンパニー
広報・渉外部 技術渉外グループ長）
<講演3>『「卒FIT」余剰電力活用について』
安保 陽平 氏（東京電力エナジーパートナー株式会社 販売本部
お客さま営業部 アライアンス第二グループ グループマネージャー）
川田 直子 氏（同 販売本部 再エネ推進部 再エネ事業企画グループ
グループマネージャー）

場 所：横浜市開港記念会館 1階1号室
（横浜市中区本町1丁目6番 TEL：045-201-0708）
参加費：無料（ただし、資料代 800円）
申込み：11月11日（月）までにメールまたはFAXでご連絡ください。
TEL：045-810-1470 FAX：045-810-1471
E-mail：keitnb@asahi.email.ne.jp
後 援：神奈川県、横浜市温暖化対策統括本部

2019年11月以降、FIT制度を卒業する太陽光発電設置者が増加していく。
各電力会社より、FIT後の売電価格が提示されつつあるが、
いずれも電気料金よりはるかに低い額で、1kWh当たり10円以下がほとんどだ。
買う電力を減らし自家消費を増やす、余剰電力を賢く運用する時代のはじまりです。
今回のフォーラムでは、神奈川県のエネルギー政策の話を伺うとともに、
蓄電池の活用方法、東京電力の「再エネおあずかりプラン」を紹介いただき、
FIT後の余剰電力を賢く運用する方策を探ります。

横浜市開港記念会館
横浜市の歴史的建造物・ジャックの塔
みなとみらい線：「日本大通り駅」から徒歩1分
JR・市営地下鉄：「関内駅」から徒歩 約10分

【主催および、連絡・問合せ先】
認定NPO法人太陽光発電所ネットワーク
神奈川地域交流会代表 田辺 哲平
〒245-0002 横浜市泉区岡津3-41-7
TEL：045-810-1470 FAX：045-810-1471
E-mail：kanbeki@asahi.email.ne.jp
URL：http://blog.livedoor.jp/pvkanagawa
太陽光発電所ネットワーク(PV-Net)神奈川地域交流会は、太陽光発電設置者を中心とする全国組織の中の神奈川県地域における組織です。自然エネルギーや太陽光発電の普及・啓発活動をしています。

講演2は積水化学さんにお願いしています。年内にFIT満了する約53万件の1割強が組立住宅セキスイハイムと言われており、その強みを活かして、PV搭載邸電力量調査(2017年)、V2H搭載邸調査(2017年)、蓄電池搭載邸運転実績調査(2018年)、停電時の蓄電システム稼働状況調査(2018年災害時)などの実績調査を行ってきました。その調査分析に基づき、卒FIT後の活用提案についてご講演いただく予定です。

講演3では、もっとも多く方が契約していると思われる東京電力さんにお話していただきます。東電の契約者は自動的に再エネ買取標準プラン(買取単価8.5円/kWh)に切り替わりますが、8月6日には「再エネおあずかりプラン(仮想蓄電池のようなサービス)」の詳細が明らかになりました。

現在の買電契約や発電量、使用量などの条件によって、各家庭の最適なプランは異なりますので、各講演での説明をよくお聞ききいただき、ご検討いただければと思います。皆さんのフォーラムへのご参加をお待ちしています。 (田辺記)

世話人から

連絡事項

今回のフォーラムの案内は、Eメールまたは通常のハガキにて行います。参加申込は、Eメールまたはファックス、電話にてお願いします。

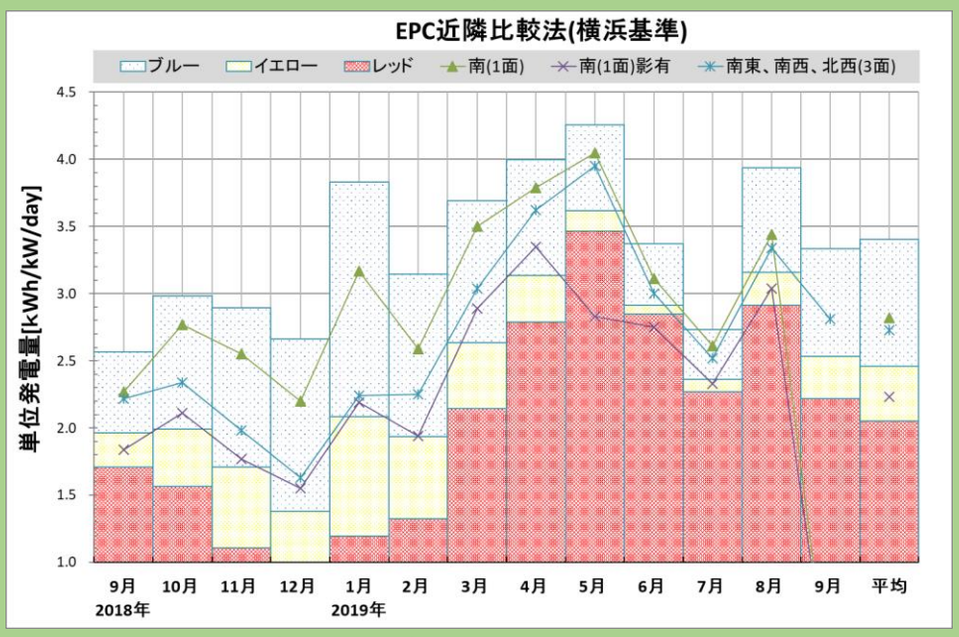
今後の予定

2019年10月20日(日)
あつぎ環境フェア
会場：厚木中央公園
時間：10:00～15:00

2019年11月9日(土)
第19回まなぶん祭り
会場：ほどがや市民活動センター
時間：10:00～15:00

2019年11月16日(土)
フォーラムかながわ2019【秋】
～ 太陽光発電：FIT後の発電電力運用について ～
会場：横浜市開港記念会館
時間：13:00～16:30

今月の単位発電量！



気象庁によると9月は「全国的に暖かい空気が入りやすく、北・東日本を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多く、気温は北・東・西日本でかなり高く、月の前半を中心に厳しい残暑となった。また、北日本と東日本日本海側で日照時間がかなり多く、東・西日本太平洋側でも多かった。北日本太平洋側と東日本日本海側では 降水量がかなり少なかった一方で、沖縄・奄美では、暖かく湿った空気や複数の台風の影響で曇りや雨の日が多かったため、日照時間はかなり少なかった。9月は複数の台風が日本に接近または上陸・通過し、各地で大荒れとなった。特に8日から9日にかけては、強い勢力のまま関東地方に上陸した台風第15号の影響で、東日本太平洋側を中心に記録的な暴風を観測するなど大荒れとなり、千葉県などで甚大な災害が発生した。」

単位発電量とは、1kWあたり、1日あたりの平均発電量です。毎月の発電量[kWh]を設備容量[kW]と日数で割ってください。平均は直近12か月の単位発電量です。一般的に単位発電量は、ブルーの範囲になることが期待されます。北西など、やや北向きがある発電所はイエローになることもありますが、レッドになる場合は、メーカなどに相談することをお勧めします。